

II.CHANGE FOR THE BLUE

海ごみゼロに向けた全国の取り組み

海ごみが生まれる仕組みに私たち人間の暮らしが大きく関わっていることがよくわかりました。
“これ以上、海にごみを出さない”という思いを多くの人に広めていくためにCHANGE FOR THE BLUEという活動が日本各地で行われています。



5月30日（ごみゼロの日）～6月8日（世界海洋デー）前後を海ごみゼロウィークと定め全国各地で清掃活動を行います。ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを拾うという当たり前の行動は日本の誇りを世界へ向けて発信します。



目標 日本全国80万人以上参加
愛媛 1万人以上参加

海ごみゼロウィークオリジナルごみ袋



かわいい海の生き物がプリントされたオリジナルごみ袋は植物を原料としたバイオマスプラスチックを50%使用しています。

愛媛県内で**21団体、総勢のべ約11,000名**の人が海岸清掃に参加しました。
みなさん、ありがとうございました。

参加団体	参加人数	実施日	実施場所
株式会社アンカレッジ・マリーナ	50	5月31日	松山市・栗井河原海岸
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム	150	6月8日	伊予郡松前町・塩屋海岸
中島B&G海洋センター	50	5月25日	姫ヶ浜ビーチ
HIME CUP	300	5月6日	五色姫海浜公園
えひめ海ごみ調査プロジェクト実行委員会	50	6月1日	梅津寺海岸
南海放送ラジオ	150	5月25日	今治市・星の浦海岸
松前町	2000	6月1日	北黒田海岸、塩屋海岸
中島B&G海洋センター	20	6月2日	姫ヶ浜ビーチ
今治ワールドプラザ名店会	50	6月25日	織田が浜
HIME CUP	450	7月8月・9月	五色姫海浜公園
えひめ海ごみ調査プロジェクト実行委員会	2000	5月19日	松山市大街道
B-SPORT EHIME	200	5月4日5日	五色浜海浜公園、伊予市尾崎地先
愛媛県セーリング連盟	50	5月12日	松山市堀江海岸
ビーチクリーンしまなみ	50	9月8日	宮窪町鵜島
大島交流館 大島テラス	60	7月6日	渡島海岸一円
愛媛ダイハツ販売株式会社	350	7月15日	姫ヶ浜ビーチ
NPO法人 School Green Japan	50	7月14日	北条 立岩海水浴場
南海放送 しまのわ学校体育祭運営事務局、興居島町内会	300	10月19日	松山市興居島鷺ガ巢海岸
北条風早レトロ祭り ミライオン株式会社	700	11月4日	松山市北条文化の森
えひめ海ごみ調査プロジェクト実行委員会	2000	11月16日	松山城山公園
えひめ海ごみ調査プロジェクト実行委員会	2000	12月22日	伊予郡松前町筒井

III. えひめ海ごみ調査隊プロジェクト

私たちの街でもこんな活動やっています！
.....

えひめ海ごみ調査プロジェクトスケジュール
2019年春から県内各地でさまざまな活動が行われました。

2019.	5.19	えひめ海ごみ調査隊・結成発表会
	5.30~6.8	海ごみゼロウィーク
	6.18	推進パートナー募集開始
	8.26	えひめ海ごみ調査隊活動
		第1弾・中予エリア P15のレポートを見てね →
		海洋環境整備船「しづち」見学会&海ごみ学習会
	9.7	第2弾・南予エリア P17のレポートを見てね →
		ビアートでみきゃんを作ろう&海ごみ学習会
	10.6	第3弾・東予エリア P19のレポートを見てね →
		津島ビーチクリーン大作戦&海ごみ学習会
	12.22	えひめ海ごみ調査プロジェクト活動発表会

えひめ海ごみ調査隊活動



ラジフェス



プロジェクトの目標は……

1. 「海ごみ」の存在を愛媛の人に知ってもらおう！
2. 子どもたちに楽しみながら愛媛の海的环境を学んでもらおう！
3. 「海ごみ」を自分ごと化して具体的な行動につなげよう！



海が大好きな君へ えひめ海ごみ調査隊 隊長 梶形浩人



春の海は柔らかく、夏の海はどこまでも青く、秋の海は波音でスヤスヤ眠れ、冬の海は正直・・・一年中、海が好きです。大人になった今も、海にはたくさん思い出があります。

そして目の前にある海は、島や外国と繋がっています。まだ見ぬ異国の人たちの思い出も、その海と共にあるのかも知れません。

僕は、海ごみプロジェクトの活動を通して、私たちの生活から生まれたごみはやがて「海ごみ」となって各地へ流れ着いてしまうことを知りました。それは鳥影や海の底にもありました。こんなに海が好きなのに、海の一部しか見ていないことを知りました。

もっと海のことを知り、考え、動く。未来の海のこと一緒に考えよう。これからも。

えひめ海ごみ水軍漂流記イベント第1弾! 海洋環境整備船「いしづち」見学会&海ごみ学習会



中子エリア
レポート



開催日時： 8月26日(月) 14:15~16:00
開催場所： 松山港湾・空港整備事務所
松山市海岸通2426-1
協力団体： 松山港湾・空港整備事務所
参加者： 調査隊メンバーと松山市周辺から
集まった小学生16名と保護者30名

この日のテーマ 海に浮かぶごみはどのようにして掃除しているの?

愛媛には海の掃除機「いしづち」という船があります。船の正式な名前は、**海洋環境整備船「いしづち」といいます。**
海ごみは、魚を傷つけたり、船に当たって大事故を引き起こしたり、漁業のじゃまをしたりして大きな問題になっています。こうした問題を解決するのが「いしづち」です。日本には12隻の海洋環境整備船があり「いしづち」は佐田岬の先端から愛媛と香川の県境にかけての2700km²を担当しています。「いしづち」は今日も瀬戸内海のどこかで活躍しています。



海洋環境整備船「いしづち」



この日のスケジュール

1 海ごみ学習会



はじめに「愛媛の海にどんなごみが落ちているのか?」を港湾事務所の職員さんからお聞きました。

2 いしづち紹介パネル



「いしづち」の仕組みや構造、海ごみをどんな風に回収しているのかを事前学習

3 港湾業務艇「くるしま」に乗船



いよいよ海へ、港湾業務艇「くるしま」に乗船、ワクワク&ドキドキ

4 海上パトロール



実際に海の上で働く「いしづち」を見学、カメラでしっかり記録します。

5 回収された大木



こんな大きな木が流れてきていることにびっくり!

6 アンケート記入



今日一日の感想をアンケートに記入、はじめて知ったことがたくさんありました。

この日のまとめ

その1.すごいぞ!「いしづち」



「いしづち」の船の先は、魚が口を開けたようにぼっかり開いています。そこが海ごみの入り口で、船は海ごみに向かって進んでいきます。まるでプランクトンを食べるジンベイザメのよう。船内に取り込まれたごみは自然にカゴに集められる仕組みになっています。また、開口部から入らない大きなごみは船体に装備されているクレーンでキャッチ!細かく切って港まで持ち帰ります。

その2.海ごみベルトって知ってる?



元々はいろんな地域から出された海ごみですが、それら海に漂うごみは潮目に集まります。潮目とは、温度がちがう海流がぶつかる場所のこと。海流とともに海ごみも流されるため、それが集まって長いものは数キロも続きます。これを「海ごみベルト」と呼びます。

その3.海ごみもリサイクル



港に持って帰ったごみはそのまま廃棄するのではなく分別してリサイクルできるものは再利用します。流木などの木材は細かくチップにして燃料として再利用されています。限りある資源を有効に活用しています。

先生からのメッセージ



国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所職員 飯田海さん

空と世界がつながっているように海も世界とつながっています。だから日本の海ごみは他の国にも流れていきます。実際に日本のごみがアメリカに流れついたという記録もあります。反対に海外からごみが日本に流れてくることもあります。海ごみは国境を越えた問題なのです。海ごみをなくすためには、普段の生活の中でごみを「出さないこと」「拾うこと」「分別すること」が近道です。また、そうしたことをお友だちに教えてあげるのも大切なことです。

参加者の声



私たちの生活から出たごみが海ごみになっているなんて思いもしませんでした。また、きれいな海を守るためにたくさんの人たちが働いていることも学びました。ポイ捨てなんてもってのほか、ごみを出さない、出したときはきちんとごみ箱に捨てる!しっかり守ってみたいです。



南子エリア
レポート

愛媛の海ごみ水軍漂流記イベント第2弾！ ブイアートでみきゃんを作ろう！&海ごみ学習会



開催日時： 9月7日(土) 9:00~11:00
開催場所： 伊方町三崎総合支所
西宇和郡三崎町692番地
協力団体： 佐田岬一風堂
一般社団法人E.Cオーシャンズ
参加者： 調査隊メンバーと県内の小学生親子約30名

この日のテーマ 海ごみになったブイを使ってアート！みきゃんを作ろう！！

ブイとは海に浮かんでいるプラスチック製などの丸いボールのことです。英語でbuoy「浮かせる」という意味があります。道路でいう交通標識の役目や漁業用の仕掛けをしている目印などとして使われています。役目が終わったブイは回収されますが、何らかの理由で海を漂いごみになってしまうものもあります。今回は不要になったブイを使って、愛媛県のイメージアップキャラクター・みきゃんを作りました！



ブイがいっぱい
浮かんでいるね～



この日のスケジュール

1 南子イベントスタート



海ごみゼロ「未来の海のために今できること」の合言葉に参加者が集合。

2 南子の漂着ごみ



ショック!! 南子の海にもこんなにたくさんさんの海ごみがある!

3 海ごみ学習会



はじめて聞く海ごみのお話、熱心に耳を傾けます。

4 ブイアートづくり



どんな作品ができるかな? みきゃんってどんな顔だった?

5 ブイアート完成



個性的なブイアートが勢ぞろい! ダークみきゃんもいるね。

6 ブイアート発表



一人ずつ前に出て自分の作品を発表。おもしろい作品ができたね。

この日のまとめ

その1.海ごみでアートを考える理由



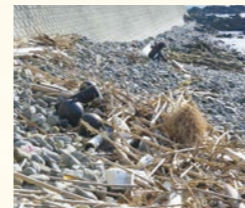
海ごみを活用しているものを作ることができます。例えば、海に捨てられたガラスが割れて小さくなって、角がとれて、砂に削られて曇りガラスのようになったものをシークラスと言い、その美しさから小物やアクセサリに使用されています。このような作品を身近に置いておくことで海ごみのことを忘れずにいることができます。

その2.ブイアートプロジェクトとは?



日本全国の港町をつなぎ、浜辺に流れ着くブイをテーマに、海のごみについて考える機会を創ると共に、ブイアートとしてのブイの活用を推進していくプロジェクトです。元々は漁業の道具として活躍していたブイ、何らかの理由で広い海を漂流し再び浜へ戻ってきたブイをごみ扱いせず、もう一度輝かせることで海を考える機会になればと活動はスタートしました。みんなでブイアートをすることが海を綺麗にする事につながっていくことと信じています。

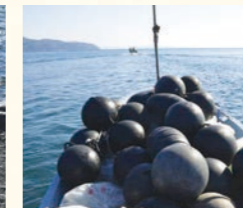
その3.ブイはこうやって回収されている!!



海岸に打ち上げられたブイ



ひとつひとつ回収してまわる



船に乗せて港まで運ぶ



集まったブイを処分するのにもお金がかかる

先生からのメッセージ



佐田岬一風堂 田村義孝さん

海は本来「楽しい思い出をつくる場所」です。大人が出したごみは大人が責任を持って処理し、子どもたちに負の遺産を押し付けてはいけません。ただ、瀬戸内海や宇和海の海ごみの現状を知ってほしいので、みきゃんやブルータスの絵を描きながら楽しく学んでほしいです。



一般社団法人E.Cオーシャンズ 岩田功次さん

本当は海で子どもたちと一緒にごみを拾うのではなく、豊かな自然を満喫しながら「元気に楽しく遊びたい」という思いです。海ごみを未来に残さないために大人に「ごみを出さないように」と伝えているのですが、それだけではいつまでも減りません。いつの日か、きれいな海で皆さんと思いっきり遊びたいです。

えひめ海ごみ水軍漂流記イベント第3弾！ 津島ビーチクリーン作戦&海ごみ学習会



開催日時： 10月6日(土) 8:30~14:00
開催場所： 今治市吉海町津島
協力団体： ピーチクリーンしまなみ
参加者： 調査隊メンバーと
県内の小学生親子約40名



この日のテーマ 島の海岸掃除を通して世界の海ごみについて考えよう！

瀬戸内しまなみ海道が通る大島の西側にある小さな島です。かつて300人を超える人が住んでいましたが、今では7人だけです。瀬戸内海をたどる海ごみはこの津島にも流れついていて、島民の方だけでは回収できません。そこで、海ごみ水軍調査隊が出動！海岸清掃にでかけ30分で約60キロのごみを拾いました。



みんなで協力しよう！



この日のスケジュール

1 今治港出発



朝早く港に集合して船に乗り込む。いざ津島へ出発進行！！

2 中で津島クイズ



船の中で津島クイズをしました「現在、島の人口は？」

3 津島へようこそ



島の代表の藤澤さんがご挨拶「みんなが来るのを楽しみしていました」

4 ビーチクリーン



2グループに分かれて海ごみ拾い開始。いろいろな物流れ着いていました。

5 カレーづくり



ビーチクリーンの後にはみんなでカレーづくり、子どもたちも手伝っています。

6 海ごみバトル



一人一つずつ拾ってきた海ごみを発表！おもしろいごみがあったかな？

この日のまとめ

その1.海ごみのストーリーを想像する



この日拾った海ごみは私たちの生活に身近なものがたくさんありました。例えば、このビーチサンダルはどんな人が使っていたのかな？このさびついた時計はどうして捨てられてここに流れ着いたのかな？そんな風に想像を膨らませていくと不思議と海ごみがただのごみに見えなくなります。思いを巡らせて考えることが海ごみを無くす一歩につながります。



海ごみバトルの優勝者には島でとれたレモンがプレゼントされました。

その2.島の人たちだけにまかせていいの？



まだ島に大勢の人が住んでいた時には若い人もいたので島に流れ着いたごみを片付けることができました。しかし、今では7人のおじいちゃん・おばあちゃんだけではとても片づけることはできません。大切な故郷を守っていくためにもみんなが協力して島の人の力になって海岸清掃をしていくことが大切です。

島の人たちと一緒に食べたカレーは最高においしかったです！



先生からのメッセージ



愛媛県総合科学博物館 小林真吾さん

海は身近な存在ですが、私たちはその本当の姿を知らないように思います。海ごみの種類や量などの調査を行って皆さんにお知らせしていますが、それだけではごみは減りません。津島以外の島にもいろんなところからごみが流れ着いていて、もう島の人たちだけではどうにもできません。ごみを拾うだけでなく、島の人たちと一緒にご飯を食べ楽しく交流することで、そのふれあいのなかで自分ごととして海ごみについて考え拾っていく行動につなげてもらえたらと思っています。

島の人からのメッセージ



津島の総代 藤澤豊彦さん

子どもたちがハツラツとした表情でごみを拾っている姿を見て、とても勇気づけられ元気になりました。また、うれしかった反面、こうしたごみを捨てているのは大人たちなのに...、という恥ずかしい気持ちにもなりました。

瀬戸内海には津島以外にも海ごみで困っている島がたくさんあり、島民たちは頭を悩ませています。今後も親子で楽しみながらビーチクリーンに参加してもらって、大人と子どもが一緒になって、海ごみについて考える機会をつくっていただければと思います。

IV. 宣誓「私のChange for the Blue」

さて、次はあなたの番です。
あなたは海ごみをゼロにするためにどんなことができますか？
ここでは、あなたが毎日の暮らしの中で「海ごみゼロ」を実現するために、気をつけること、これは頑張ってみよう！、これだけは絶対しない！と思うことを約束しましょう。

~~~~~ 海ごみゼロ生活10のヒント ~~~~~

- 1.** 買い物はエコバッグを使う


- 2.** 出かける時にはマイ水筒を持って


- 3.** ストローは使わない


- 4.** ごみ袋は古新聞を活用


- 5.** プラスチック製のおもちゃは選ばない


- 6.** シャープペンシルではなく鉛筆を使う


- 7.** 陶器やガラスの食器を使う


- 8.** おしぼりはNG！ハンカチを使う


- 9.** 歯磨き粉や洗顔料は成分を確認して買う


- 10.** 山や川、海の生き物について勉強する



あなたは海ごみゼロに向けてどんなことができますか？

私は、海ごみゼロを実現するために次の約束を守ります。

約束した日 _____

約束した人 _____